

財政健全化指標関係 公営企業会計資金不足比率の状況

法適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	流動負債	負債算入地方債 (退職手当債等)	流動資産	小計 = + -	解消可能 資金不足額	資金不足額 = -	事業規模	資金不足比率 /
水道事業	H22	32,723	0	945,891	913,168	0	913,168	615,091	-
	H21	155,432	0	958,847	803,415	0	803,415	600,889	-
病院事業	H22	1,002,989	770,399	1,277,881	495,507	770,399	0	5,049,012	-
	H21	1,160,336	921,275	1,256,239	825,372	921,275	0	4,866,022	-

法非適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出	負債算入地方債 (退職手当債等)	歳入 (繰越財源控除)	小計 = + -	解消可能 資金不足額	資金不足額 = -	事業規模	資金不足比率 /
簡易水道事業	H22	1,164,352	0	1,222,122	57,770	0	57,770	451,046	-
	H21	1,135,542	0	1,145,239	9,697	0	9,697	443,839	-
集落排水事業	H22	684,832	0	701,468	16,636	0	16,636	89,474	-
	H21	618,779	0	631,105	12,326	0	12,326	87,980	-
公共下水道事業	H22	2,678,400	0	2,738,108	59,708	0	59,708	266,760	-
	H21	3,537,594	0	3,592,654	55,060	0	55,060	245,694	-
浄化槽整備事業	H22	145,733	0	152,177	6,444	0	6,444	21,292	-
	H21	85,145	0	93,968	8,823	0	8,823	17,894	-

法非適用企業(用地関係会計)

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出	負債算入地方債 (退職手当債等)	歳入 (繰越財源控除)	土地収入見込額	地方債現在高	長期借入金	小計 = + - +(+ -)	解消可能 資金不足額	資金不足額 = -	事業規模	資金不足比率 /
工業用地造成事業	H22	268,431	0	269,856	0	1,476,738	0	0	0	0	1,476,738	-
	H21	586,789	0	589,153	0	1,438,446	0	0	0	0	1,438,446	-
宅地造成事業	H22	167	0	35,851	7,069	0	0	42,753	0	42,753	35,684	-
	H21	12,179	0	48,021	7,388	0	0	43,230	0	43,230	43,230	-

用地関係会計において、未売出となっている区画分の土地収入額は「0」となる。

用地関係会計の小計は、+ - - がマイナスであれば、地方債現在高、長期借入金を算入した結果がプラスとなっても「0」となる。

用地関係会計の事業規模は、地方債現在高と長期借入金の合計額。但し、実質黒字額と土地収入見込額の合計額を下回る場合は、実質黒字額と土地収入見込額の合計額とする。

資金不足がある場合は、正の数値で表記。(黒字の場合はマイナス表記)